

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表【学部】（2019年度）

年度	科目番号	科目分野	対象学科			科目名	配当年次	単位数	実務経験に関して（WEBシラバス「その他」欄抜粋）	
			生産科	環境科	食品科					
1	2019	190	教養	○	○	○	地学	2	2	これまで公設の試験場において自然災害予知・予測関係の研究業務を10年間行ってきた。基本的な地質や温暖化、多発する自然災害に関する研究成果も本講義の中で述べる予定である。
2	2019	191	教養	○	○	○	生物学実験	2	1	担当には、これまでに国や独立行政法人等の関係機関において、調査研究、技術開発および技術者養成に携わってきた教員が含まれる。これら実務経験で得られた知見や技術の実際を講義に取り入れて学生の理解醸成に活かす。
3	2019	195	教養	○	○	○	物理学実験	2	1	☑間企業において産業用ロボットの開発・設計に従事した経験を有し、力学分野の実験経験を生かして実験指導をおこなう。（大角）☑間企業において、農業農村整備事業の調査、計画、設計業務に従事した経験を有し、経験を生かして実験指導をおこなう。（一恩）
4	2019	201	共通	○	○	○	石川の自然と農林水産業	1	2	石川県農林水産部に農業・林業・水産分野の専門職として勤務。各分野における行政、研究、普及等の経験をもとに本県の農林水産業について講義する。☑
5	2019	205	共通	○	○	○	栽培学概論	1	2	これまでに公設の試験場や行政・普及機関に勤務し、地域の農業振興に関する試験研究や施策の提案に携わってきた経験を有する。
6	2019	206	共通	○	○	○	廃棄物・資源循環論	3	2	これまでに食品メーカーの研究所に勤務し、商品開発をした経験を有する。加工食品が製造される際に発生する廃棄物についても講義の内容に含む。
7	2019	214	共通	○	○	○	農場実習A	2	2	これまでに公設の試験場や行政・普及機関に勤務し、地域の農業振興に関する試験研究、農家指導、施策の提案に携わってきた経験を有する。
8	2019	215	共通	○	○	○	農場実習B	2	2	これまでに公設の試験場や行政・普及機関に勤務し、地域の農業振興に関する試験研究の普及や施策の提案に携わってきた経験を有する。
9	2019	217	共通	○	○	○	地域食農フィールド演習	1	1	これまでに公設の試験場や行政・普及機関に勤務し、地域の農業振興に関する試験研究の普及や施策の提案に携わってきた経験を有する。
10	2019	219	共通	○	○	○	土壌環境学	2	2	これまでに化学メーカーの研究所に勤務し、新規肥料の研究・開発を実施した経験を有する。肥料の開発において取り組んだ研究についても講義の内容に含む。
11	2019	316	専門	○			動物繁殖学	3	2	これまでに国および独立行政法人の畜産関係機関において、調査研究、技術開発および技術者養成に携わってきた。これら実務経験で得られた知見や技術の実際を講義に取り入れて動物繁殖学の理解醸成に活かす。
12	2019	317	専門	○			動物生体機構学	2	2	担当教員は、これまでに国、独立行政法人または県の畜産関係機関において、調査研究、技術開発および技術者養成に携わってきた。これら実務経験で得られた知見や技術の実際を講義に取り入れて学生の理解醸成に活かす。
13	2019	321	専門	○			生産システム学	2	2	民間企業において産業用ロボットの開発・設計に従事した経験を有し、実務経験を生かして講義を行う。
14	2019	322	専門	○			生物計測工学	3	2	民間企業において産業用ロボットの開発・設計に従事した経験を有し、実務経験を生かして講義を行う。
15	2019	323	専門	○			農業経営・農業生産組織論	3	2	これまでに農業生産者団体（農協連合会）に勤務し、農畜産物の流通と穀物貿易の業務を担当した経験を有する。農業経営分析に必要な農業簿記の基礎とリスク管理方法としての契約や先物取引の実態・実務についても講義の内容に含む。
16	2019	324	専門	○			食料経済・食料安全学	2	2	これまでに農業生産者団体（農協連合会）に勤務し、農畜産物の流通と穀物貿易の業務を担当した経験を有する。農産物卸売市場における取引の実態や農畜産物貿易の実務についても講義の内容に含む。
17	2019	331	専門	○			動物生産学実験	3	2	担当には、これまでに国、独立行政法人の畜産関係機関において、調査研究、技術開発および技術者養成に携わってきた教員を含む。これら実務経験で得られた知見や技術の実際を講義に取り入れて学生の理解醸成に活かす。
18	2019	332	専門	○			生物生産工学実験（生産システム学実験）	3	2	民間企業において産業用ロボットの開発・設計に従事した経験を有し、実務経験を生かして実験指導をおこなう。（大角）
19	2019	401	専門		○		土壌物理学	2	2	理化学機器装置メーカーに勤務。装置開発の経験をもとに、土の物理的環境のセンシング装置の製作工程や測定原理について講義する。
20	2019	402	専門		○		土質力学	2	2	理化学機器装置メーカーに勤務。装置開発の経験をもとに、土の力学的特性の測定装置に関する製作工程や測定原理について講義する。
21	2019	409	専門		○		野生動物管理学	3	2	国の研究機関に勤務し、野生動物管理に関する研究を行い、行政機関などに助言を行った経験を有する。これらの経験も講義の内容に活かしている。
22	2019	410	専門		○		水文学	2	2	これまでに農林水産省関係の研究所に勤務し、アジア、アフリカにおける水文研究を実施した経験を有する。こうした研究から得られたデータなどを活用して、実践に即した講義を行う。
23	2019	411	専門		○		応用生態工学	3	2	これまでに民間の建設コンサルタントに勤務し、官公庁などから委託された農業農村整備事業や河川整備事業に関する調査、計画、設計業務に従事した経験を有する。これらの業務において取り組んだ環境配慮の実例についても講義の内容に含む。
24	2019	412	専門		○		施設工学	3	2	これまでに農林水産省や農研機構に勤務し、ダムや水路などの調査・設計・施工管理、コンクリート構造物の機能診断技術や補修工法の開発を行った経験を有する。これらの経験をもとに、各種農業水利施設の調査・設計・施工方法について講義する。
25	2019	414	専門		○		水資源利用学	3	2	これまでに農林水産省関係の研究所に勤務し、アジア、アフリカにおける水文研究を実施した経験を有する。こうした研究から得られたデータなどを活用して、実践に即した講義を行う。
26	2019	418	専門		○		景観生態学	3	2	林業試験場で約20年間、森林の生態と管理についての調査と解析業務に従事してきた。
27	2019	419	専門		○		緑地環境学	3	2	これまでに国土交通省の研究所に勤務し、国土レベルでのグリーンインフラや緑地環境行政、生物多様性保全等に関する政策支援、技術指針の策定に従事した経験を有する。これらの経験を、講義に活用し、実践的な教育を行う。
28	2019	422	専門		○		水理学	2	2	これまでに民間の建設コンサルタントに勤務し、官公庁などから委託された農業農村整備事業や河川整備事業に関する調査、計画、設計業務に従事した経験を有する。これらの業務における水理学の必要性についても講義の内容に含む。
29	2019	423	専門		○		応用力学	2	2	これまでに農林水産省や農研機構に勤務し、ダムや水路などの調査・設計・施工管理、コンクリート構造物の機能診断技術や補修工法の開発を行った経験を有する。これらの経験をもとに、土木構造物の構造設計に必要な設計理論について講義を行う。
30	2019	424	専門		○		土木材料学	3	2	これまでに農林水産省や農研機構に勤務し、ダムや水路などの調査・設計・施工管理、コンクリート構造物の機能診断技術や補修工法の開発を行った経験を有する。これらの経験をもとに、各種土木材料の役割と活用方法、コンクリート構造物の劣化機構や補修・補強工法について講義を行う。
31	2019	425	専門		○		地形情報処理	3	2	建設コンサルタント会社に勤務。☑の科目は、企業で測量全般、GIS等を担当する者が、その経験を生かし、基礎となる測量技術や空間情報処理等について、講義形式で授業を行うものである。
32	2019	426	専門		○		環境関連法規	3	2	石川県生活環境部職員が所管している各法律を逐条解説する。

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表【学部】（2019年度）

年度	科目番号	科目分野	対象学科			科目名	配当年次	単位数	実務経験に関して（WEBシラバス「その他」欄抜粋）
			生産科	環境科	食品科				
33	2019	429	専門		○	土質・土壌物理実験	2	2	理化学機器装置メーカーに勤務。装置開発の経験をもとに、土の物理的特性/力学的特性に関する測定装置の製作工程や測定原理について講義する。
34	2019	430	専門		○	環境基礎実験	3	2	これまでに食品メーカーの研究所に勤務し、微生物検査を実施した経験を有する。この微生物検査についても授業の内容に含む（馬場保徳担当回）。
35	2019	431	専門		○	水理学実験	3	2	担当教員は民間企業で官公庁から委託された調査、計画業務を経験した者と国立試験研究機関で調査研究業務を経験した者を含む。これらの業務を通じて経験した、安全かつ円滑に共同作業を行うための心構えについても講義の内容に含む。
36	2019	434	専門		○	地形情報処理実習Ⅱ	3	2	柳井は北海道立林業試験場で山地崩壊の地形解析業務に7年間従事してきた。
37	2019	436	専門		○	野生動物管理学実習	3	1	国の研究機関に勤務し、野生動物管理に関する研究を行い、行政機関などに助言を行った経験を有する。これらの経験も実習に活かしている。
38	2019	504	専門		○	分子生物学	2	2	担当教員は微生物発酵分野の実務経験者であるため、授業内では、基礎生物学で得られた知見がどのようにして社会に還元されるのか、その手法、考え方を教示する。
39	2019	510	専門		○	食品機能学	2	2	これまでに公設試験場に勤務し、企業と共同で機能性食品の開発を実施した経験を有する。機能性食品の開発において取り組んだ研究についても講義の内容に含む。
40	2019	513	専門		○	食品分析学	2	2	これまでに医薬品企業に勤務し、創薬研究と技術開発研究を行ってきた経験を有する。実例を踏まえたデータの取り扱い方の紹介、様々な業界での分析の利用について実例を踏まえて紹介する。
41	2019	514	専門		○	食品衛生学	3	2	過去に公的研究機関、及び民間企業に在籍しており、食品の安全性・毒性評価について共同研究に従事した経験を持つ。講義の中では実施した安全性評価法について紹介する。
42	2019	519	専門		○	食品マーケティング論	3	2	過去に公的研究機関、及び民間企業に在籍し、食品開発の共同研究に従事した経験がある。講義の中ではブランド化や付加価値化のための着眼点など視点を変えて物事を把握する重要性について事例を挙げながら紹介する。
43	2019	524	専門		○	食品開発論	3	2	これまでに食品企業に8年間勤務し、研究開発を行った経験を有する。講義の中にはその内容を含む。
44	2019	526	専門		○	機器分析学	3	2	これまでに医薬品企業に勤務し、創薬研究から技術開発研究までの経験を有している。食品に限らず実際の世の中の分析の動向や活用方法などを実例を交えながら講義を行いたいと考えている。☑
45	2019	536	専門		○	食品科学演習Ⅰ	2	1	この科目は、企業等からの講師による演習指導を含むので「実務経験のある教員による授業科目」に該当します。
46	2019	610	教職	○	○	理科教育法Ⅰ	2	2	富山県公立中学校に勤務。実際の授業の経験をもとに理科授業のあり方について講義する。
47	2019	614	教職	○	○	農業教育法Ⅰ	2	2	教員生活36年間の内、34年間を農業高校で農業教育に携わる。実際の農業教育の経験をもとに、農業教育の未来を担う農業教員に必要な知識や技術、指導力等について講義する。
48	2019	615	教職	○	○	農業教育法Ⅱ	2	2	教員生活36年間の内、34年間を農業高校で農業教育に携わる。実際の農業教育の経験をもとに、農業教育の未来を担う農業教員に必要な知識や技術、指導力等について講義する。
49	2019	660	教職	○	○	職業指導	2	2	国内企業の社長秘書として勤務。アメリカの伊藤忠ニューヨーク勤務。国内・海外の勤務を通して、働くことに関する、人間関係、社会との関わり、自己実現を含む生き方について、自ら得た知識、知恵を講義の内容に含めていく。
各学科単位数計			41	60	38	学部単位数計		93	

科目分野別単位数内訳

科目分野	単位
教養教育科目（※全学共通）	4
専門共通科目（生産）	13
専門共通科目（環境）	11
専門共通科目（食品）	11
専門科目（生産）	16
専門科目（環境）	37
専門科目（食品）	15
教職科目（※全学共通）	8